

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
532	乳幼児相談事業	01	01	一般会計	
8	子どもを生み育てやすい環境をつくる	04	04	衛生費	
		01	01	保健衛生費	
		01	01	保健衛生総務費	
		103	103	母子保健事業	
		02	02	乳幼児の育成指導事業	
担当部課名	阿山支所 健康福祉課		細目	103	母子保健事業
作成者氏名	森下 泰成	連絡先	43-9711	細々目	02

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)		
乳幼児を子育て中の保護者		乳幼児相談事業、乳児教室等を通じて保護者の個別の子育て不安の軽減や知識の普及ができる。また、保護者同士のつながりができることで情報交換ができ、ストレスの軽減、孤立化や児童虐待の防止につながる。		
本年度事業内容	発育、発達、栄養、育児など子育て全般について相談の機会を設ける。 乳幼児相談の開催 12回 育児に関する知識の普及や仲間づくりをめざし乳児教室を開催する。 乳児教室の開催 4回			
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	290	140	140
報償費	110	125	125
需用費	49	15	15
役務費	18		
委託料	113		
合計(A+B)	3,890	3,740	3,740
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	3,890	3,740	3,740
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
乳幼児相談事業	千円	157	140	140			
乳児教室の開催	回	4	4	4			
乳幼児相談の開催	回	12	12	12			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
乳児教室への参加者数	参加者数により子育てに不安を抱えている方を把握し回数等を設定する	人	109 目標 ()	120	130
乳幼児相談への相談者数	参加者数により子育てに不安を抱えている方を把握し回数等を設定する	人	177 目標 ()	200	220

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

子育てに不安を抱えている保護者の増加が見込まれるので、相談回数及び子育て支援事業との連携を検討する必要がある。

評価	必要性	4	乳児教室は保護者同士のつながりができ有効である。また、子育て不安の解消には乳幼児相談は欠かせない。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		